

1年生 砂場で水(泥)遊び

9月になり、季節は秋ですが、まだまだ暑い日が続いています。そのようななかで1年生が生活科の学習で水遊びをしました。

1クラスごとに運動場の砂場で、たっぷりと時間を使って遊びました。山をつくったり、泥だんごを作ったりと思い思いに楽しんでいました。

泥遊びには、子どもの手先の感覚や想像力を育むといわれています。また、友だちと一緒に

活動することでコミュニケーション力などの社会性も身につくともいわれています。

子どもたちを見ていると、穏やかな顔でスコップやバケツなど声をかけあって貸し借りしている姿もみられました。見ているこちらが、心がほっこりします。



秋の音が響いています



今年も校長室前の廊下で鈴虫の音が聞こえています。学校運営協議会の副委員長である古市博信さんに今年も持ってきていただきました。

いつまでたっても暑い日が続いていますが、鈴虫の声を聞くと秋を意識するとともに涼しさも感じることができます。

足を止めて鈴虫の様子を見ている子どもたちもみられます。なかには、「触ってみる?」と聞くと、「ムリ〜。」

と言って足早に去っていく子もいます。

秋分の日も過ぎました。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉を聞いたことありますが、鈴虫の涼しげな声にさそわれて次の季節は来るのでしょうか?